

運動と健康

— 身体活動と筋肉と健康の関係について —

適切な身体活動や食事が、健康を維持するために重要であるといわれ、特に生活習慣病やフレイル等の発症リスクを低下させることは近年多くの研究により明らかになっています。中潟先生には、最新の研究成果を踏まえ身体活動、運動に関する日本人の実態について説明いただきます。今回、株式会社タニタのご協力を頂き、参加者のみなさまには実際に体組成を測定し、健康状態を知って頂くコーナーを用意しました。自身の健康状態を確認する機会としていただければと思います。



講師プロフィール



ながた たかし
講師 中潟 崇氏

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
身体活動研究部 行動生理研究室 研究員

■日時：2023年10月1日（日）

体組成測定会：①12:00～13:50

※タニタ体組成計により体組成を測定いたします。

測定のみ参加も可能です。混雑した場合には、事前申込をされた方を優先とします。

②15:15～15:45

中潟崇先生講演会：14:00～15:15

■場所：エルパーク仙台セミナーホール

■定員：120名 ※テーマに興味のある方はどなたでも参加できます。

■参加費無料/要事前申込

下記QRコードまたは往復ハガキにて生活環境科学研究所までお申込みください。申込〆切9月27日。その際、氏名・所属・連絡先をお知らせください。開催方法に変更が生じた場合は、ご登録いただいたご連絡先にご連絡いたします。申込受付定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。



<https://forms.gle/X7gzT8scV2RN1vQE9>

■葉書の申込/問合せ先

宮城学院女子大学附属生活環境科学研究所
〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9丁目1-1
E-mail: seikaken@mgu.ac.jp
TEL: 022-277-6210

主催：宮城学院女子大学附属生活環境科学研究所

共催：宮城学院女子大学生活科学部食品栄養学科、宮城学院女子大学教育学部教育学科健康教育専攻
宮城学院女子大学スポーツサイエンスラボ

後援：宮城県、仙台市、公益社団法人宮城県栄養士会、公益財団法人宮城県スポーツ協会

協力：株式会社タニタ、竹井機器工業株式会社、株式会社明治

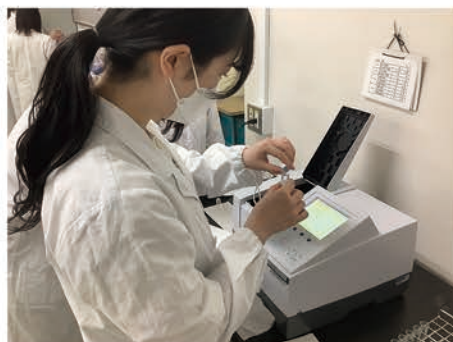
宮城学院女子大学附属生活環境科学研究所

本学における生活環境科学に関する研究を推進し、生活環境科学の進歩、および教育の向上に資するとともに、広く学術文化の発展に貢献することを目的として2000年に設置されました。(1966年に設置された生活科学研究所を前身としています)

生活科学部 食品栄養学科 栄養や食育への注目が集まる現在、「食」と「健康」に対する社会のニーズは、ますます高まっています。本学科では“食と健康のスペシャリスト”とも言うべき管理栄養士や栄養教諭などを養成します。社会で今、生じている栄養の問題を解決できる管理栄養士を養成するとともに、学外組織との連携による実践的教育に取り組んでいます。



TEAM i プリンセスカップ



実験風景

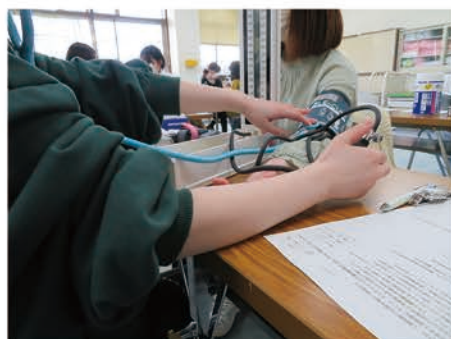


食品栄養学科HP

教育学部教育学科 健康教育学専攻 幅広い「教養」と確かな「専門性」をベースに、子どもや保護者、社会のニーズに応え、理論的かつ柔軟に子どもたちの発達を支援できる「健康教育」の専門家を育てます。学校教育全体を深く理解し、子どもの多様な健康課題に寄り添う養護教諭の養成を目指していきます。スポーツ・体育の課程も併設し、より総合的な視点から健康教育に取り組む人材を養成します。



健康教育専攻HP



看護学実習



スポーツ実技

スポーツサイエンスラボ (通称：MG-SpoLab)



シーズンスポーツ

スポーツサイエンスラボ(通称スポラボ)は、本学における体育・スポーツの振興を推進することを目的として設置され、授業やサークル活動を中心に、学生のスポーツ活動を広く支援しています。このほか、ジュニアや社会人を対象としたスポーツ教室の開催、プロチームやその他のスポーツクラブとの連携協定などを通して、積極的に大学を開放していきます。



MG-Spolab HP